

「校門」の存在を意識しよう！

仁賀保高校生は、毎朝校門を通過して校庭を進み、生徒玄関から教室に向かいます。そして放課後、校門を出て自宅に帰ります。「校門(正門)」は、毎日生徒や教職員を待ち構え、見送っているのです。

世の中には「境界」が至るところにあります。国境や県境、自宅と隣家の敷地の境など日常生活に「境界」はあふれています。私たちは、「区別」するために「線」を引き、境界の内と外を意識して生活しています。

「正門」の外側に、校長名で立看板が二つあります。一つ目は「生徒の送迎のための車の出入りを禁ずる」。もう一つは、「校地・校舎内は禁煙ですのでご協力くださるようお願いいたします」という看板です。生徒と保護者のみなさんは、一つ目の指示を誠実に守り、校門から校地内に自動車で進入することを自粛しています。

「校門(正門)」は、内と外を隔てている境界を唯一越えて行き来ができる特別な場所なのです。生徒のみなさんは、登校時に「校門」を通過する際、何か意識していますか？

「今日も一日学校生活が楽しくありますように」と念じて入ってくる生徒はいますか？

「学びの場」である学校に足を踏み入れる時、一瞬でもかまいません。身も心も立ち止まって考えてみてください。

「学びを通して、自分自身が成長する場」「楽なことだけを求めず、難しいことにチャレンジし、頑張る自分を褒めてくれる場」など、前向きな気持ちになることで、学校は光輝く空間になります。登校時に一人ひとりが、自分の気持ちを整理して校門を通過しましょう。放課後に校門を出るときも、今日の自分はどうか、必ず振り返りましょう。校門を、「人間の気持ちを整える場」と考えてください。

学習指導強化月間(11月12日～12月11日)を活用して自分を鍛えよう！

令和元年度仁賀保高校では、「他者とのかわりかかわりで気づいたことを自らの言葉(身体・道具等)で表現する」ことを目標に授業を行っています。この期間中、12月4日(水)には公開授業研修会が予定されています。

生徒が目標を達成できるように、先生方には五つのポイントを示し、指導するようにお願いしてきました。今回は、このポイントを確認して、みなさんの学習が主体的で対話的、かつ深い学びに結びつくように期待しています。

- ①「目標の焦点化」生徒にどんな力を付けさせたいか？生徒がどんな変容を見せるか？
- ②「見通しのフロー化」生徒に授業の見通しを示し、安心感を持たせる。
- ③「思考の見える化」文章を書かせることを通して思考の訓練を促す。
- ④「2人か4人でアクティブラーニング」3人でもOK。授業に参加して各自が能動的になる。
- ⑤「アイコンタクトで聞く姿勢を保つ」話す人の方をしっかりと見て聞く姿勢を整えることは、道徳教育の基本である。

生徒のみなさんが、中学校時代より主体的で対話的に授業に取り組めていれらうれしいです。今日の自分より一歩前進し、意欲的に学習する生徒になってください。

仁高生よ、文武の道をいそしまむ！

- ★ アイコンタクト (i con t act) を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志(瞬間) + 気力(持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ GTH は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！